

## 令和4年度 第2回 池田市子ども・子育て会議 議事録（要約）

日 時：令和5年3月16日（木）午前10時～12時10分

場 所：オンライン会議

出席者：副市長、委員9名、事務局21名

傍聴者：1名

### 1. 開 会

#### 副市長挨拶

本年4月からこども施策の司令塔となる、こども家庭庁が新たに内閣府の外局に設置されます。同時に子どもの包括的な権利や国の基本方針を定めたこども基本法が施行され、こどもまんなか社会の実現に向け、国と地方自治体一丸となって様々な施策が展開されることとなります。さらに令和6年4月からは改正児童福祉法が施行され、妊産婦、子育て世帯及び子どもに関する包括的な相談支援を行う子ども家庭センターの設置や、児童発達支援センターが地域での障害児施設の中核的な役割を担うことの明確化、また子どもをわいせつ行為から守るための保育士資格の管理、厳格化、支援が必要な子どもや家庭に対する各種支援事業の創設など、新しい制度がスタートします。

本市におきましてもこれまで12年間にわたり進めて参りました第6次池田市総合計画からバトンを引き継ぎ、さらなる街の発展に向けて第7次池田市総合計画を策定いたしました。子ども・子育て施策を取り巻く環境の変化への対応、業務の移管を含めた組織体制の大幅な変更を行うことで、各種施策の効果的な推進に向けた連携の強化や、意思決定の効率化に向けた組織を構築し、新たな体制による着実なスタートダッシュを行ってまいります。

### 2. 内 容

#### 1) 池田市子ども・子育て会議のオンライン会議の運用に関する要領（案）について

##### 《事務局説明》

子ども・子育て会議は、従来、市庁舎にて対面形式で開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大以降、人と人との接触が厳しく制限される中で開催方法を模索し、令和2年度第2回目以降はオンライン形式で開催しており、家庭や職場から参加いただけることで、市庁舎までの移動の負担がなく、より広く参加いただけるメリットも感じています。

新型コロナウイルスについては、5月8日から感染症法上の分類を現在の2類相当から5類へと変更することが決定されました。これまで本会議においては特別な規定は定めず、感染症拡大の防止を目的とする緊急的な対応としてオンライン形式で行ってまいりましたが、今回の5類移行を機に、改めて現状に沿ったルール設定を行うものです。

##### 《質疑応答》

Q. 5類移行後も基本的にはオンラインで進めると理解してよいか。

A. 次回以降は委員の皆様のご来庁希望状況に応じて、従来型の対面形式とオンライン形式のハイブリッドのような形も検討してまいります。

### 《意見》

- ・対面の良さもありオンラインの便利さもある。オンラインで3年間やってきて、少し慣れてきているので継続してもいいかなとも思うが、委員さん同士の交流とか、対面して感じる情報もあるので、一回目は対面であとはオンラインとか、少し対面を入れてもいいと思う。
- ・子どもを預けるのが難しい状況のときに、オンラインはありがたいというところはある。
- ・オンラインでの開催は参加しやすい形だが、対面で感じられるものもあると思うので、状況に合わせてオンラインだったり対面だったり使い分けるといいと思う。

## 2) 第2期池田市子ども・子育て支援事業計画中間年の見直し(案)に係るパブリックコメントの実施結果について

### 《事務局説明》

前回の会議で提示させていただいた見直し案により、パブリックコメントを実施いたしました。期間は昨年12月1日から22日までの間、広く意見を募集し、2名の方から合計15件、内容としましては中間見直し案への質問のほか、子ども・子育て施策への要望もいただきました。

### 《質疑応答》

Q. 「池田市では、マンションや住宅の建設により他市からの転入が増加しており、どこに何があるかわからない人も多いのではないか」という意見について、ホームページに掲載されたり、パンフレットも市役所や地域子育て支援拠点等いたるところに置かれたりしているが、割と知らない人がいらっしやるので、転入時にお子さんがいたら、何か案内できるシステムがあるといいと思う。

A. 転入の方に関しましては、市役所1階の総合窓口課において転入手続きをしていただき、その後子育て関係など各種手続きをご案内しています。15歳までのお子さんがいらっしやる家庭は皆さん児童手当の申請をされますので、その際に小さいお子さんがいらっしやる家庭については子育て支援情報の一覧が掲載されたパンフレットをお渡ししています。

Q. ふくまるこども券について、このクーポン券が始まって10年近く経っていると思うが、お母さんが預けたいと思っても枠が狭まっていて、使用できないということも聞く。開始当初から状況も変わってきているので、クーポン券の使い方の多様化を、現状を踏まえた上で柔軟に考えていくことも必要だと思う。

Q. ふくまるこども券について、上の子どもの頃は急なお願いでも結構利用できていたが、下の子どもの頃には、共働きが急に増えた印象があり、全然子どもを預けられなくなった。保育施設は以前より増えた印象で3歳までの子どもを預かっていただく場所も増えたのに、一時預かりや急用で利用できる場所は凄く減った印象がある。

A. ふくまるこども券については、保護者の育児不安や負担を軽減し、育児のリフレッシュをしていただくため、一時預かりに利用いただけるクーポン券を配布しています。保育ニーズ増加による受け入れ先の減少や新型コロナウイルス感染拡大による児童の受入人数の縮小という状況から見直しを行い、予算概要にも記載していますが、出産・子育て応援交付金の制度に移行してまいります。

Q. 一時預かりを利用しようとする、申込みをしてから利用できるまでに1か月かかったのと、次回予約可能な日はさらに1か月先で非常に利用しにくかった。保育施設は増えているが、利用できる保育所や認定こども園は少ないと感じる。

A. 一時預かりの利用が困難になっていることは、本市も感じているところです。保育所や認定こども園は増えていますが、それ以上に保育所に入りたい方の増加が多く、一時預かりよりも本来の保育所、認定こども園という機能の部分を拡充していかざるを得ないという状況になっています。今すぐ何か解決できるかという非常に苦しいところではありますが、ニーズを受け止めた上で、より良いサービスが提供できるよう努めてまいります。

### 3) 特定教育・保育施設の確認について

#### 《事務局説明》

令和5年4月に私立幼稚園の室町幼稚園が子ども子育て支援新制度に移行する予定です。

新制度移行の際には、子ども・子育て支援法に基づき、幼稚園、保育所、認定こども園等それぞれの施設において、教育や保育を給付するに足りる施設かどうかを基準に沿って確認し、併せて利用定員を定めます。

今回施設類型としては幼稚園のままで、利用定員が3歳、4歳、5歳それぞれ30名ずつ、合計90名の定員設定となります。この施設については従来から私立幼稚園として認可を受けている施設で、認可基準に関しては既に満たしています。

#### 《意見》

- ・パブリックコメントでも認定こども園の目的についての質問があったが、国の制度設計で保育所と幼稚園の機能を併せ持った認定こども園を推奨し、運営費等の補助の対象にもしていくことにより新制度の施設が増えてきているとの動向調査もある中で、次期子ども・子育て支援事業計画のニーズ調査の際にも、そういった実際のニーズをどう考えるかということになっていくのかなと思う。

### 4) 条例の制定・改正について

#### 《事務局説明》

#### ①こども家庭庁設置法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

- ・子ども・子育て支援法第19条第2項が削除されることに伴い、同法第19条第1項を削る項すれの改正。

#### ②池田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

- ・民法改正により懲戒権に関する規定が削除されたことに伴う関係規定を削る改正。
- ・学校教育法第25条に新たに第2項及び第3項が追加されることによる項すれの改正。

#### ③池田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

- ・児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴い、同基準に従う本条例の改正。

#### ④池田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営を定める条例の一部改正について

- ・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴い、同基準を参酌する本条例の改正。

### 5) 留守家庭児童会運営事業の教育委員会への移管について

#### 《事務局説明》

本市留守家庭児童会は、学校が放課後も児童が移動することなく安心して過ごせる場所であることから、小学校の協力により学校敷地内で運営してきました。

令和4年度からは教職員OBの巡回支援員による日々の児童の遊びや生活指導などについての助言、指導を行うとともに、指導員を対象とした研修などに取り組み質の向上に努めています。

この度、留守家庭児童会の管理運営について、施設の整備権限を有する教育委員会に事務委任することで、入会需要への対応をはじめ、環境改善など事業を取り巻く諸課題への解決について迅速化を図るとともに、学校との連携についてもより一層推進することでさらなる質の向上に取り組みます。

#### 《質疑応答》

Q. 教育委員会に移管することによって、何か今までと変わることはあるのか。

A. 直ちに大きく変わるということはありませんが、教育委員会が責任を持って取り組んでいく中で新たな気づき等が出てくることで、運営方法への反映や放課後子ども教室との連携などの面において今後変わっていくものと考えています。

Q. 留守家庭児童会と放課後子ども教室がどちらも教育委員会で所管されるということで、子どもたちにとっていい方向に進んでいくことを期待しているが、放課後子ども教室のスタッフも高齢化が進んでいて、なり手がいないということも聞いている。安全面に関しても遊んでいる中での事故なども多く、その責任問題も大変だということも聞いているので、そのようなことも含めて良い方向に進めていただければ。

A. 放課後子ども教室はこれまで、地域の方等の力も借りながら子どもたちの安全な放課後の居場所づくりとして進めてきました。ただ、スタッフはあまり入れ替わることなく継続して携わっていただいているところがほとんどであるため、スタッフの高齢化が進んでおり、年齢を重ねて元気な子どもたちの動きについていけないという声も聞いている。新しいスタッフの募集はそれぞれの小学校で行っていますが、PTAに声をかけたりすることで、徐々にではありますが新しい方にも参加いただいています。まだまだ人員不足で、若い方の力も求められていますので、色々な工夫をしながらスタッフ確保に努めてまいります。

#### 《意見》

- ・教職員のOBが巡回支援していることを始めて知ったが、もっと発信していただけたらより安心して子どもを預けられる保護者も増えると思う。
- ・地域の見守りに参加したいという学生もいるので、学生の活用も検討いただければ。

## 6) 令和5年度予算(案)概要について

### 《事務局説明》

#### ①子ども・子育て支援事業計画策定事業【新規】

…次期子ども・子育て支援事業計画の策定に向け、小学校の就学前及び就学後世帯に対する教育・保育の量等のニーズ調査、及び大阪府との共同で子どもの生活に関する実態調査を実施。

#### ②私立保育所等整備補助事業【新規】

…現在小規模保育事業を運営するぞうさん保育園が認可保育所に移行するための施設整備、石橋保育所跡地での幼保連携型認定こども園の新園舎整備に対する補助。

#### ③地域子育て支援拠点事業【拡充】

…地域支援活動の一環として、就学前の児童を養育する保護者同士の交流や情報交換、地域の仲間づくり、子育て支援に関する活動に取り組む団体、育児サークルの活動への補助。

#### ④私立保育所等補助事業・私立幼稚園等補助事業【拡充】

…おむつ処理費用や嘱託医の報酬、健康診断費用等、保健衛生環境の整備に対する補助。

#### ⑤妊産婦・乳児健康診査事業【拡充】

…出産後間もない産婦の方が健康診査を受ける際の費用を助成。

#### ⑥出産・子育て応援交付金給付事業【新規】

…出産応援ギフトとして妊婦1人につき5万円、子育て応援ギフトとして出生されたお子さん1人につき5万円を給付。

#### ⑦バス置き去り防止に係る予算【拡充】

…送迎用バスの置き去り事故を受け、安全装置の装備が法定義務化されたことに伴う装備等に係る費用への補助。

### 《質疑応答》

Q. 出産・子育て応援交付金給付事業は、今年度出産された方へ遡及して給付するのか。

A. 遡及して給付いたします。昨年4月1日以降にお生まれになったお子さんや妊娠届を提出された方については申請書等を郵送しています。

Q. 施設見学の際、おむつを持ち帰らなくていいなど保護者目線ではアピールされているが、子どもたちに向けたものが少ない印象を受けた施設がいくつかあった。市として保育の質について何か対策されているのか。

A. 保育の質の確保については、一人一人の能力向上が重要であり、令和4年度はキャリアアップ研修を年間7分野、それぞれ市内事業者にお勤めの160名以上の保育士の方に受講いただきました。また、一人一人の保育士の負荷軽減のためにも、引き続き保育士確保の支援に努めてまいります。

Q. 保育園や幼稚園で何かあったときに直接声を挙げにくい、継続して通わせているところで何かあっても声を挙げにくいという現状があるが、市と施設との間で何か対策はしているのか。

A. 施設に対しての意見や苦情を伝えたときに、それが保育に影響するではないかという保護者の不安は伺っています。率直な思いはなるべく施設に直接お伝えいただければと思いますが、伝えにくいこ

とがあれば幼児保育課でも対応しています。

《意見》

- 保育現場としても、保育の質、先生の質を高めるために、外部講師を招いた研修や研究に取り組み、子どもたちが楽しく安心して通えるよう努めていく。
- 子育て世代包括支援センターなど、妊娠期からの支援を担っている専門職の充実や整備もしていただければありがたい。